外国出張報告書

平成 27 年 1 月 6 日

1. 出張国名　　マレーシア

2. 出 張 月　　平成 26 年 8～12 月

3. 出張目的　　セランゴール水域におけるハイガイ養殖漁場環境調査及び
サンプル分析：C

4. 成果の概要

前回出張時にセランゴール周辺ハイガイ養殖漁場および養殖漁場に流入する河川において得たサンプルについて分析を行った。栄養塩分析において硝酸塩を亜硝酸塩に還元するカラムの目詰り現象が発生したが、この対策を含めて分析上の問題を解決した。得られた水サンプル中の栄養塩濃度、クロロフィル a 量、懸濁物質量をマレーシア水産研究所において分析し、ほぼすべてのサンプルの分析を終了した。

ハイガイ養殖漁場において 5 側線を設け、それぞれ 4～5 定点において栄養環境調査を行った。高濃度のアンモニウム塩が検出されたブロー川河口から沖合にかけての 25 時間調査を実施した。当調査において、p H4 程度のきわめて酸性度の高い河川水の流出が確認され、ハイガイノ成長に影響を及ぼしている可能性がある。